

## 2009年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2009年度の日本数学会賞建部賢弘賞の授賞式は、2009年度秋季総合分科会の際の9月25日（金）14時50分より、大阪大学共通教育イ講堂にて行われました。

受賞者については、「数学通信」第14巻3号の会報135でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介は、今までと同様にご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載することになりました。（五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。）

### 特別賞

福島竜輝（京大理学振PD）

業績の題目：ランダム媒質中のブラウン運動の解析

空間的に非一様な媒質中での拡散過程の挙動に興味があり、その一例として媒質がランダムな場合を研究しています。今回の受賞は私を支えたり導いて下さった方々あってのことであり、この場をかりて深く感謝申し上げます。

下村明洋（首都大東京理工准教授）

業績の題目：非線形分散型方程式の散乱理論

偏微分方程式論に於いて、主に、関数解析的な手法を用いて非線形シュレディンガー方程式の研究をしてきました。解の漸近的な性質を中心に研究を行いました。これまでお世話になった方々に深く感謝致します。

入谷寛（九大数理助教）

業績の題目：Gromov-Witten 不変量に関する研究

量子コホモロジーやミラー対称性の研究をしています。写真は3年前のDurhamで撮ったもので、このころ始めた研究を現在でも続けています。これからはもっともっと自由な数学に挑戦していけたらいいなと思っています。

### 奨励賞

澤野嘉宏（学習院大理助教）

業績の題目：実関数論的な手法による関数空間の研究

静岡県出身で、桐蔭学園高校を経て東大に入学、東京大学大学院数理科学研究科博士前期課程、後期課程修了。日本学術振興会の特別研究員、学習院大学理学部数学科の助教を経て現在京都大学理学部数学教室の助教。

今まで、いろいろな人に応援してもらい苦しい時も乗り越えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

佐々木浩宣（千葉大理助教）

業績の題目：ポテンシャル付非線型分散型方程式の逆散乱問題の研究

非線型波動や場の理論に関連する方程式について、実解析的手法等を用いて研究しています。暗中模索の日々ですが、楽しく勉強しております。この場をお借りして、お世話になっている先生、先輩、同期、後輩、そして家族に心から感謝申し上げます。

安井弘一（京大数理研特定研究員）

業績の題目：4次元多様体のハンドル分解に関する研究

4次元多様体の微分構造を研究しています。授賞会場は9年間所属していた大阪大学でしたので、私にとってはより一層の喜びでした。これまで研究を支え応援して下さい、先生方、事務の方々、友人達、そして家族に心より感謝いたします。

岸本展（京大理博士課程2年生）

業績の題目：非線形分散型方程式の一意可解性と函数空間

非線形分散型方程式の初期値問題の適切性について主に研究しています。特に初期値の正則性が低い場合に非線形性をもたらす現象について興味を持っています。この度は名誉ある賞を頂き大変光栄に存じますとともに、日頃お世話になっております皆様に深く感謝いたします。

三浦英之（阪大理助教）

業績の題目：流体力学に現れる非線形偏微分方程式の数理解析

非圧縮 Navier-Stokes 方程式などの非線形偏微分方程式を研究しています。最近解の特異点付近での漸近挙動に興味を持っています。まだまだ力不足なので足場を固めながら、少しずつ新しいことも勉強していければと考えています。お世話になりました皆様に、心よりお礼申し上げます。

田中心（東京学大教育講師）

業績の題目：曲面結び目と曲面ブレイドに関する研究

曲面結び目（四次元空間に埋め込まれた閉曲面）を研究しています。修行が足りないせいか、四次元での結び目方が「見える」という境地にはなかなか達することができません。今までお世話になった方々への感謝を忘れず、今後も精進したいと思います。